



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年2月4日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 「性暴力 なかったことにしないで」

4日(日)=1、3面

迫る



小学校時代に担任から体を触られるといった性暴力を受けてきました。でも誰にも打ち明けられないまま年月を重ねてきたのです。「誰も知らないはず」と思っていたことが間違いだったと、被害者の平野利枝さん＝写真＝が気が付くのは、小学校卒業から約30年後にあった中学校の同窓会でした。同じ小学校に

通っていた女性が、あの時、何もできなかったと謝ってきたからです。さらに、あの担任から性暴力を受けてきた人が他にもいることが分かったのです。平野さんは体の不調に悩まされ続けています。性暴力に起因するPTSD（心的外傷後ストレス障害）と診断されたのは、30代後半の時でした。性暴力をなかったことに

しないでほしい。平野さんは元担任の処分を求めましたが、事態は動きませんでした。それでも仲間の支援を受けながら行動してきました。平野さんは今、40代。講演などで性暴力について実名で語っています。学校での性暴力の再発防止と、被害者を守る仕組み作りを目指す平野さんの心境と行動に迫ります。

## そこが聞きたい「気候変動を生き抜くには」

4日(日)=くらしナビ面



1980年代から地球環境問題に警鐘を鳴らし、欧州連合（EU）首脳のパolicyアドバイザーなども務めた米作家ジェレミー・リフキン氏＝写真＝はインタビューで、化石燃料に基づく「進歩の時代」は終わりを迎えた

指摘します。では今後は？回復力や混乱に適応する力を意味する「レジリエンス」が生き抜くキーワードになると言います。日本の課題、統治のあり方の変化についても語りました。

「非正規春闘2023実行委員会」のメンバーら



## 特集 ワイド

## 「積立王子」が勧める新NISA活用法

6日(火)=夕刊2面

お金は汗水垂らして稼ぐもので、投資で増やすなんて……。そんな考え方は今や昔になっています。今年から新たな少額投資非課税制度（新NISA）が始まり、「投資元年」と呼ばれるほど投

資熱は高まっています。投資の初心者にも魅力を伝えてきた「積立王子」こと、なかのアセットマネジメント社長の中野晴啓さん＝写真＝が勧める新NISA活用法とはどんなものなのでしょうか。



新年度を前に、新たな労働条件について労使が話し合つて決めていく春闘。世界的な物価高騰を背景に、どれほどの賃上げが実現するのかに注目が集まっています。こうした中、静かな広がり

を見せるのが、労働者の4割近くを占めるパートやアルバイトなどの非正規雇用労働者による「非正規春闘」です。いったい何が起こっているのでしょうか。図表とともに紹介していきます。

## 静かに広がる「非正規春闘」

4日(日)＝総合面

注目の一戦を毎日新聞でお楽しみください！  
王将戦の特集ページはこちら。  
(小野田香織)

竹橋の窓から  
編集後記  
藤井聡太王将に菅井竜也八段が挑戦する第73期王将戦七番勝負。藤井王将がタイトル戦20連覇の新記録にあたり、1勝と王手をかけています。7日からいよいよ第4局。毎日新聞のニュースサイトでは対局中の棋譜速報や、タイムライン・ライブで現場の様子を随時お届けします。